

質問者 板野 ^{いたの} ^{りくと} 陸斗 議員（17番）

1 教員の働き方について

ただいまの板野 ^{いたの} ^{りくと} 陸斗議員のご質問にお答え申し上げます。

教員の働き方について、であります。学校では従来の仕事に加え、ICTの活用や小学校の英語教育など、新たな取組が増え、教員の長時間勤務は、学校現場が抱える大きな課題であると捉えています。

日本の小中学校教員は熱意に溢れ、仕事時間は世界最長と言われており、本市においても、今年度9月の調査では、残業時間上限の月45時間を超える教員が、小学校で20.1パーセント、中学校で60.8パーセントに上っています。勤務時間後も学校に残っての事務処理、帰宅後の翌日の授業準備、休日部活動の長時間化などの実態も明らかになっています。

しかし、今年8月に、文部科学大臣から「教師を取り巻く環境をより良いものとする事は待ったなし」「できることを直ちに」

「2024年度からの3年間を集中改革期間」とする旨のメッセージが出され、国全体で改革の気運が高まっており、本市においても、校長会で業務の見直しや勤務時間の縮減を促すほか、朝や夕方以降の電話対応、出張や提出書類等の削減など、優先順位を踏まえ思い切った見直しを推進しているところです。

今後も、引き続き、学校、保護者・地域の皆さん、教育委員会と連携し、業務の削減やICT化、役割分担の見直しなどについて相談しながら、働き方改革の取組を推進してまいりたいと考えているところです。

以上申し上げまして、^{いたの}板野 ^{りくと}陸斗議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。